



やまゆりニュース

Vol.33

令和3年2月1日発行

川崎市麻生区市民活動支援施設 麻生市民交流館やまゆり



A4サイズ・オールカラー、全102ページを掲載。配布無料だが、数量限定



あさお区民記者が取材した市民活動団体やグループも載っています



理事長 植木昌昭

今のうちに

「まちのひろば」を知っておこう！

そして、待ちましよう。つながりあう日まで・・・

麻

生区では「希望のシナリオづくり」の実現に向けて、令和2年1月26日(日)の第1回のキックオフに50名を超える公募委員が集まり、コロナ禍のもと数回にわたりリアルとオンラインを駆使して検討が進められました。

そのなかで、「まちのひろば」を自薦・他薦で掘り起こそうと、区から委託を受けた認定NPO法人あさお市民活動サポートセンターが、「まちのひろば100」プロジェクトを立ち上げました。「まちのひろば」は、新たな仲間と出会い、つながり、交流し、次の一歩へとぎゅっかけとなる場所、区内には数多くあるのではないかと、取材に取り組みました。

残念なことに、コロナ騒ぎで活動を休止している場面にも出会いましたが、これからは取材した「まちのひろば」が連携して、点が線になり、面になり、大きなうねりが起きることを期待したいと思っています。

この冊子は、麻生区役所地域振興課、麻生市民交流館やまゆりにて、3月から配布予定です。

ウィズコロナ、ポストコロナにおける「やまゆり」の各種事業・イベントについて

2020年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月以降の事業(イベント)は「歌声喫茶 春」を皮切りに多くのものが中止・延期となりました。そのなかで、対策が容易で、リスクの小さい「麻生区地域コミュニティ活動支援事業」家族で学ぼうプログラム(ミニング)「ワードとエクセル表計算塾」「アクティブシニア講座」は会場人数を変更して実施、従来通りの成果が得られたのではないかと考えています。

麻生市民交流館やまゆりは、開館14年目を迎えます。多くの区民に知って頂き、各種イベント時のアンケート調査でも「麻生市民館」「川崎市アートセンター」「新百合トウエントイワンホール」「イオンシネマ新百合ヶ丘」とともに、高位の「劇場・ホール等の施設」として認知されており、運営者としての喜びでもあります。

新型コロナウイルス感染の推移は、見通しできませんが、市民活動の支援、地域デビュー支援、市民活動の場の提供、資金面・ノウハウの面での支援、発表の場の提供など、麻生区の市民活動支援施設の中核拠点としての使命・役割を心し、またお楽しみイベント開催のタイミングも検討し、本年も、区民の皆さまにより一層、可愛がって頂ける施設を目指し企画・運営していきたいと思っております。

理事 海崎真

目次

A 安心・安全

備えあれば憂い無し

P2

S 寒さに負けず

黒川青少年野外活動センター
活動レポート

P2

A 明日へ・・・

「コロナ禍が問うもの」を考える
麻生市民館平和・人権学習講座

P3

O お役立ち情報

リモートMTG
楽しんでみませんか

P3

● 区民講師公開講座のお知らせ

P4

安心・安全



備えあれば憂いなし

かつて区役所の危機管理担当から「特に予知が困難な地震に対しては、イメージトレーニングが有効である」との説明があった。すなわち、自宅と校外出先で大きな地震が発生した場合、その場で採るべき行動を朝、昼、夜に分けて、頭に描く訓練を繰り返し行う。そうすれば慌てないため、安全に行動できる。

さて、今はコロナ禍のなか、感染した場合にとるべき行動を知っておくことも大切である。発熱、喉の痛み、味覚がないなどの症状が出たら、まずはかかりつけ医または感染症コールセンター（TEL044-200-0730）に連絡する。

質問に答えてPCR検査が必要になった場合は、指示された場所



災害への備蓄は怠りなく。コロナ感染でも役立ちます



万が一のコロナ感染に備えて調べておこう

検査を受ける。検査の結果が陽性になったら、症状と基礎疾患の種類などに応じて指示された病院、ホテルや自宅などで療養することになる。

これらの指示による場合、PCR検査費、病院やホテルでの日用品を除いた療養費は無料である。

意外と意識しないのが、残される同居の家族のことである。特に濃厚接触者と認定されると、症状がなくても感染防護対策が必要のため、滞在先や搬送方法を探すのに苦労する。搬送に救急車やタクシーは使えない。独りでも日常の生活が送れる人は問題ないが、これが困難な子どもや高齢者、要介護者などが残る場合は、まずは区役所の衛生課（TEL044-965-5163）に相談しよう。

災害にせよコロナにせよ、「備えあれば憂いなし」である。

取材・文 区民記者 中島久幸

寒さに負けず



寒くても暑くてもコロナでも野外活動中



2歳児～3歳児を対象としたおさんぽクラブ「森のようちえん」。泣いた子ども最後は笑顔

川崎市黒川青少年野外活動センター（以下「センター」）は小田急多摩線黒川駅南口から徒歩約3分の所に位置し、野外活動に親しむ拠点として区民にお馴染みである。

2020年はコロナ禍で活動が制限され、団体の宿泊や資格取得講演会などの屋内プログラムは感染拡大を防止するために実施できなかった。しかし屋外プログラムは3密を回避する以外に、食事前の手指・活動時の道具の消毒などコロナ対策を徹底し、活動を中止せずに頑張っている。

年間を通しての森林整備を行う「ネイチャーボランティア」、未就学児対象の「森のようちえん」、夏の「BQインストラクター講習会」、冬の「しめ縄飾り作り」などを実施することができた。この2月には「お手製味噌作り」を計画している。



アウトドアでドラム缶を使ったピザ作り体験。メタルマツ子の火起こしにも挑戦

常勤スタッフの大谷遼さん（26）は「これからも寒さ暑さに負けずに活動し季節満喫だ!!」と意欲満々。プログラムは幼児向けも多数あり参加者には大人だけでなく幼児も多いのが特徴。現在プログラム開催地は全てセンターだが「今後はセンターへの移動が困難な団体などにはセンターから出向いて行くことを考え、そのための準備はすでにできている」と大谷さんは語った。

プログラムに参加希望者はセンター、または主催団体に申し込んでほしい。

川崎市黒川青少年野外活動センター

所在地: 川崎市麻生区黒川313-9
連絡先: Tel. 044-986-2511 (9~17時)
 Fax. 044-986-2522
 Mail kurokawa@nots.gr.jp
アクセス: 小田急多摩線「黒川駅」
 南口から徒歩約3分
URL <http://www.kurokawa-yagai.com/>

取材・文 区民記者 新田武明

コロナ禍が問うものを考える

麻生市民館 平和・人権学習講座



過去の講義風景(講師は佐藤みのり弁護士。今年はオンライン講義のためこうした光景は見られない)



←受講の申込はここから

●平和・人権学習講座

開催日時 1月19日(火)、1月26日(火)、
2月9日(火)、2月16日(火)
いずれも10時～12時

会場 麻生市民館

料金 無料

申込 QRコードから申込

問い合わせ 麻生市民館
麻生区役所生涯学習支援課
(麻生区万福寺1-5-2)
Tel. 044-951-1300

取材・文 区民記者 仲原照男

毎年麻生市民館で開催される平和・人権学習講座。今年は「コロナ禍を機に私たちの『日常』を問い直す」と題し、オンラインに変更して開催されている。本紙発行のとき、まだ開催されていない3回目(2月9日)、4回目(2月16日)のみの受講も可能とのことだ。

3回目は、「買われる子供たち」の著書や、最近掲載された「『援助交際』修学旅行に行きたくて―非難より支援『一緒に考えて』」など多くの記事で著名な朝日新聞編集委員 大久保真紀おおくほ まさき氏による「子どもの虐待について考える」。コロナ禍にあつて増えているといわれる子どもの虐待について、その実態を知り心と命を守る方法を

考える。最後の4回目は、立教大学文学部教育学科教授 和田 悠(ゆう)氏を講師に、多くの講義がオンラインにならざるを得ない大学の現状を通じ、変化するであろうこれからの社会について考える。

すでに終了した1回目は、映像とメディアリテラシー。多数の受賞歴がある認定NPO法人 Our Place (代表理事白石草(しらいし)はじめ)氏を講師に、報道と正しい情報の捉え方について考えた。また2回目は、全国ではじめて罰則が付いた人権条例である「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」と、コロナ禍での子どもの権利について市の担当者から詳しい説明を受けた。なお、5回目の石堂志津子氏は次年度以降に延期となった。

お役立ち情報

リモートMTG ミーティング 楽しんでみませんか

コロナ禍で、遠く離れている家族や友人との会合、大勢でのミーティングができなくなった。そんななか、スマートフォンやパソコンで会話ができるサービス(ツールの)の利用者が増えている。最初は安全性への不安や、面倒くさいという理由で躊躇していた筆者も、今ではヘビーユーザーになっている。

そこで、独断と偏見を交えた本音のレポート。

私はZoom(ズーム)をよく利用している。そのほか、Skype(スカイプ)、LINE(ライン)やフェイスブックの動画チャットを使うこともある。

互いの顔を見ながら相槌を打ち、頷いたり、手を振ったり、すぐ目の前に相手がいるような感覚でお

喋りができるのが特長。



これらのサービスのなかで、おすすめはZoom。画面の切り替えが好きなようにできるほか、共有の画面を見ながら写真や書類、動画の確認もできる。音声も途切れにくく、遅延も少ない。パソコンなら登録をしなくても参加可能。録画もできる。

米国の心理学者メラビアンによれば「言葉や声よりも表情・身振りといった非言語情報が、相手を好意的に感じるための大きな割合を占める」のだという。通信環境に問題があるとき以外は、カメラはオンにして会話を楽しんでみませんか。

ビジネスで利用するとき押さえておきたいポイント

【会議前】 あらかじめ参加者には議題や資料を配布し、司会役は少し早めにログイン。スムーズな進行のため、会議中に補助をしてくれる人を決めて依頼しておくことも大事。

【会議開始時】 参加者が話しやすい雰囲気をつくり、はじめて参加する人には自己紹介の場を設ける。会議の「目的」や「ルール」を決めておき、共有しておくのがベター。

【会議進行中】 全員が参加できているか気をつけながら進行しよう。大勢の場合は発言するとき以外はマイクオフにしておくのがスマート。発言は自分の名前を名乗ってから、できるだけ簡潔に。話の終わりがわかるように「以上です」と加えることも大切!

【会議終了時】 会議の振り返りと、今後の予定を確認。時間に余裕があれば参加者の感想も聞いておこう。

取材・文 区民記者 佐々木直子

第11回 麻生市民交流館やまゆり 区民講師公開講座

4月 受講受付：3月1日より			
3日(土)	14時～16時	初心者のためのInstagram活用講座	一木 秀樹
18日(日)	14時～16時	真向法体操 無理なく健康な身体を手に入れよう!	征矢 光生
23日(金)	10時～12時	貴方もフラガール!!	五味 麻利子
5月 受講受付：4月1日より			
8日(土)	14時～16時	詩吟でもっと元気になりましょう!	三橋 扶美子
15日(土)	14時～16時	乾物で防災食はこんなに変わる～もしもの時もいつものご飯～	河原 みき
29日(土)	14時～16時	人生100年時代、就職・転職・起業であなたの夢を実現しよう!	綿貫 理明 瀬領 浩一
6月 受講受付：5月1日より			
3日(木)	14時～16時	将棋入門	末永 久治
5日(土)	14時～16時	SWOT分析のおけいこ	生野 逸夫
12日(土)	14時～16時	数学の<過去、現在、未来> -特に日本人の貢献について-	田中 俊行
14日(月)	14時～16時	もし地球に鉄がなかったら	武田 鐵治郎
24日(木)	14時～16時	『日常生活における“気の活用法”』実技指導	岡村 隆二
29日(火)	14時～16時	終活でスッキリ人生を!	村田 きょうこ
7月 受講受付：6月1日より			
15日(木)	14時～16時	共助(互近助力)で災害を乗り切る&地域で考えるペット防災	河原 義文
24日(土)	10時～12時	あつという間に読書感想文が書ける 魔法の質問	森岡 啓治
25日(日)	10時～12時	消費者力アップでトラブルを防ごう!	矢野 朗

詳細は、それぞれのチラシをご参照ください。開講月の1か月前までに公示されます。

受講受付 開講月の前月1日から。先着順(定員になり次第締切)

受講申込 チラシ裏面申込書に記入し「麻生市民交流館やまゆり」窓口へ持参、又はFAXで提出

主催 認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

問合せ ☎951-6321 Fax. 951-6467



★麻生市民交流館やまゆり

【開館日】通常時

月曜～金曜 9時30分～17時
平日の夜間 ～20時15分、
土・日曜、祝日も予約をすれば利用可
休館：年末年始、施設点検日

【アクセス】

小田急線「新百合ヶ丘」駅南口から徒歩約4分

【ホームページ】

<https://yamayuri.ne.jp/>

